

【守谷市南部地域包括支援センター 熱中症予防訪問まとめ】

・今年度熱中症予防訪問のフォロー対象者の状況や特徴

・今年度フォロー対象者は、ほぼ昨年から訪問しているケースで昨年と比べて生活状況や体力が落ちた人をフォロー対象としている傾向がある。

・守谷地区フォロー対象者 27 件のうち、本町と百合ヶ丘地区で 74% を占める。

・独居の方がフォロー対象となることが多い。

・ゴミ屋敷や病気・障害を抱えている方、親族関係が不明や複雑な家庭が多かった。

・訪問を通じて感じた地域の「特徴」と「課題」

	特徴	課題
守谷	<ul style="list-style-type: none"> ・本町は昔から住んでいる人や足の踏み場がないくらい散らかっている家など、多様な印象がある。 ・百合ヶ丘や松並は、スーパーマーケットやクリニックが徒歩圏内にあり生活しやすい環境が整っている。 ・フォロー対象者は、本町や百合ヶ丘地区に多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規訪問の方は、地域包括支援センターの存在を知らない人が多かった。 ・介護保険の名前を知っていてもサービスの内容は知らない人が多かった。 ・地域包括支援センターのことや介護保険についての啓発が必要である。
高野	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問対象となる世帯は、けやき台・松ヶ丘地区の割合が多い。 ・けやき台地区は、アパートでの独居が多いが比較的元気な方が多い。 ・松ヶ丘地区は、近隣のサロンに通っている人が他地域に比べ少ない。 ・(熱中症訪問以外だが) 子どもが同居しているが困難事例が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・松ヶ丘地区は、サロン等の参加者が少ない。 ・包括内で、松ヶ丘のサロンなどに出向き、顔つなぎをしていく必要がある。 ・民生委員や地域の方と積極的につながっていく。
みずき野	<ul style="list-style-type: none"> ・みずき野地域全体で活動している意が見える。 ・高齢の独居が多いが、みずき野内に子どもがいる方も多。また、遠くでも連絡を取り合っている方が多い。 ・自治会や民生委員がしっかりしていて、地域包括支援センター・市役所に比較的相談が入りやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・郷州公民館を中心に活動しているので、郷州公民館等の活動を把握していく。 ・サロン等が中止のままだと活動性も低下するので注意していく。

